

仁摩町に集積する

船舶設備修繕のスペシャリスト

大田市の漁業を支える

縁の下の力持ち

大田市仁摩町には、大田市の主要産業の一つである漁業を支えるスペシャリストが集まっています。

それは、船舶の船体修理や関連設備の修繕を専門に行う技術集団企業のみなさんです。



和江漁港船場に並ぶ一本釣り船舶

大田市の漁業

大田市には、22の港があり、そこを拠点に、小型底引き網、まき網、一本釣り、はえ縄、定置網などの漁業がおこなわれています。

漁獲量は、年間約8千トン、30億円の水揚げがあり、水揚げされた魚は、その日のうちに関西や九州の市場に出荷されています。

今年の9月には、静間町にある和江漁港に県内でも有数規模の統合市場が開設される予定です。すでに建設工事が施工されており、今後ますます期待される産業となっています。



▲仁万漁港上架施設で修理された船舶

仁摩町に集中

こうした大田市の漁業を支える企業が、以前は静間町和江地区や五十猛町大浦地区、温泉津町温泉津地区にもありましたが、現在は仁摩町仁万地区内に集積する7社のみとなっています。市内、県内はもとより県外からも修理の依頼があるなど希少な職種として活躍しています。

多様な修理に対応

船舶関係設備と一言で言っても、内容は多種多様で、船体、エンジン、漁労

器具、魚群探知機等の電子機器に至るまで、漁船に必要な様々な設備の設置や修理を手掛ける、漁業には欠かせないのでできない縁の下の力持ちです。

漁港に係留された船舶内で、場合によっては修理の必要な部分を取り外し、工場を持ち帰って、さらには、船舶を上架施設等に上架して修理するなど、船体や設備の修理箇所や状態に合わせた対応をしています。

漁港に係留される船舶内での作業は、スペースが限られている上、揺れもあるため、根気のある作業ですが、故障した船が少しでも



▲和江漁港に係留された修理中の船舶

◆ 企業紹介 ◆

(有)本國船舶工業所

代表取締役 本國 利幸
エンジン、漁労器具設置及びメンテナンス
仁摩町仁万1987-72
☎0854-88-2747

(有)原船用工業

代表取締役 原 祐治
エンジン、漁労器具設置及びメンテナンス
仁摩町仁万1987-48
☎0854-88-2833

小川鉄工所

代表 小川 吉秀
エンジン、漁労器具設置及びメンテナンス
仁摩町仁万1803-4
☎0854-88-2845

中島鉄工所

代表 中島 龍夫
エンジン、漁労器具設置及びメンテナンス
仁摩町仁万1470
☎0854-88-2517

早く漁に戻るるように、迅速な修理を心がけておられます。

メンテナンス技術の伝承

昭和30年代頃までは木材を材料とした木船が主流でしたが、現在は船体の軽量化や耐久性の向上のため、FRPやアルミニウム等を素材とした船舶に変わりました。又、船内機器も省エネの機器等が主流となり高度なものとなっており、それをメンテナンスする現場の技術力がさらに重要となってきています。



▶係留されたまま船舶内で行われるエンジンの修理

◀工場での修理のため、エンジンを取り外しているところ



後継者が課題

しかし、最近では個人事業主を含む7社は、そのメンテナンス技術を伝承する使命を持ちながらも技術者の高齢化や後継者不足に悩まされています。

このままでは、事業自体の継承も危ぶまれ、大田市や県内外などの水産業を支える業種としても危機的状況にあるといえます。

この解決策の一つとして、後継者対策は喫緊の課題

となつていきます。

今回、ご紹介したように、船舶関係設備修繕という業種は、希少な職種です。この企業の皆さんの力があつてこそ、小型底引き網漁や一本釣漁に代表される大田市の主要産業を守り、漁業を支えているといえるでしょう。

今後は、一人でも多くの若者がこの業種への担い手となるよう応援したいものです。



◀取り外した揚網機の修理



荒瀬好行さん(84)は、大田市仁摩町在住で、木船造船及び補修、修繕に携わって70年の大ベテラン職人です。

手作りの木船を作る技術者は大田市内では荒瀬さんひとりということですが、大田市に残る貴重な財産です。

また、日本の造船技術(木船造船)の歴史を伝えるため、荒瀬さんが技術を結集して制作された模造船(写真)を大田市へ寄贈さ

荒瀬造船所

代表 荒瀬 弘之
船体(木船、FRP船)の補修、修繕
仁摩町仁万1802-25
☎0854-88-2408

(有)中和電機公司

代表取締役 原 勝正
船舶用電機設備及びメンテナンス
仁摩町仁万1798-23
☎0854-88-2225

れ、五十猛まちづくりセンターで展示されています。(実寸法の1/2)
・開館時見学可能

荒瀬好行

船体(木船、FRP船)の補修、修繕
仁摩町仁万1987
☎0854-88-2557

【問合せ】記事に関する問い合わせは、大田市産業振興部産業企画課まで(☎82-1600)